

2024(令和6)年度 北海道園芸研究談話会 研究発表会プログラム

2024(令和6)年12月1日 於 北海道大学 農学部校舎

開始時間	会場(3階, N31講義室)
	午前 1 座長 江原 清(道総研道南農試)
9:30	1. 北海道十勝北部におけるサツマイモの生育特性および収量性を踏まえた栽培品種の検討 ○古坐 優花1・古川 将太1・大道 雅之2(1.十勝農改北部、2.大道技術士事務所)
9:45	2. 粘質土壌におけるサツマイモ苗活着率向上方法の検討 ○大道雅之1・上西孝明2(1.大道技術士事務所、2.拓大道短大)
10:00	3. 北海道におけるサツマイモ自家育苗事例調査研究 大道雅之(大道技術士事務所)
	午前 2 座長 菅原魁斗(道総研道南農試)
10:20	4. 消石灰に代わる安全なナガイモの青かび病防除法の検討 ○栢森美如1・八木亮治2・小川ひかり3・前塚研二3(1.道総研上川農試、2.道総研花野菜技セ、3.十勝農協連)
10:35	5. 紅色根腐病の発病程度とタマネギの生育期節および生育推移の関係に関する事例 桑原 萌(道総研北見農試)
10:50	6. 北海道在来種ニンクの珠芽を種球に用いた春植えおよび育苗による生産性の検討 ○阿部純也1・柳田大介2・佐々木純1・田縁勝洋1(1.道総研花野菜技セ、2.(株)ダイヤモンド十勝)
	午前 3 座長 嘉見大助(農研機構北農研)
11:10	7. 低温馴化過程で見られるブドウの冬芽基部の透過性変化と冬芽の耐寒性の関係 ○深澤満理奈・村上未葉・竹原珠樹・春日純(帯畜大)
11:25	8. ブドウ品種‘山幸’の冬芽が脱馴化するための環境要因の特定 ○春日純・石村周也・西龍一郎(帯畜大)
11:40	9. リンゴのみつ症果発生と関連した果肉組織内マロンジアルデヒドおよびアスコルビン酸含量の推移 ○遠藤 綾乃・藤木 卓巳・山下 瑠花・実山 豊・鈴木 卓(北大院農)

11:55~12:55 昼休み(60分)

	午後 1 座長 志村華子(北大院農)
12:55	10. 高設栽培ハウスで冬野菜は栽培可能か？ 冬季における温度推移 ○岡元英樹1・林 哲央1・坂入亮兵2・山口智代2(1.道総研酪農試天北支場、2.猿払村役場)
13:10	11. EPS育苗システムがブロッコリーの苗質および生育と収量に及ぼす影響 ○林さくら1・園田高広1・寺栖嘉孝2(1.酪農大、2.トーホー工業(株))
13:25	12. アルストロメリアにおける赤色LEDによる長日処理が採花本数および切花品質に及ぼす影響 菅原魁人(道総研道南農試)
	午後 2 座長 岡元英樹(道総研酪農試天北支場)
13:45	13. ギョウジャニンニクの不定芽株の生育 ○田丸典彦1・諫山邦子1・渡辺剛志2(1.釧路野外教育研究会、2.釧路短期大学)
14:00	14. コオロギフラスの施用がニンジンの生育および収量に及ぼす影響 ○園田高広1・高橋尚之1・楠本颯太2(1.酪農大、2.北海道電力(株))
14:15	15. 水田輪作における田植後稲刈り前の期間にレタスおよびキャベツ栽培を省力的に導入する試み (第2報)初期生育、生産環境および窒素吸収について 栗原志保(農研機構北農研)

終了14:30

注) ○印は演者を示します。発表時間は1課題当たり15分(発表12分、質疑3分)です。

発表開始後、10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らしますので、演者は参考にして下さい。

各セッション間に5分の休憩時間を設けます。

演者の許可なく講演内容のカメラ・ビデオ等による撮影は禁止します。
(演者の許可がある場合でも発表中の撮影は禁止します(質疑応答時に行ってください))。

※演者の方は、一つ前の発表が始まる前までに、各講演会場前方のPC係に発表スライドの入ったUSBメモリを提出ください
※会報原稿作成時の課題番号は、上記プログラムに記載した通し番号をお使いください
※会場での会費納入は取りやめることにしました。談話会ホームページもしくは会報に掲載の所定の振込口座へお振込みください